

第1章 津市の現状

1. 地勢

津市は、三重県の中央部に位置しており、北は鈴鹿市及び亀山市、西は伊賀市、名張市及び奈良県、南は松阪市と接し、東は伊勢湾を臨んでいます。

東部は伊勢平野の一部を形成する海岸平野、中部は標高30～50mの丘陵地や台地、西境沿いには700～800mの山々が連なり、多様な自然を形成しています。

平成18年1月1日に、津市、久居市、河芸町、芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村の10市町村が合併して誕生し、711.18km²と三重県で最も広い面積を有しています。

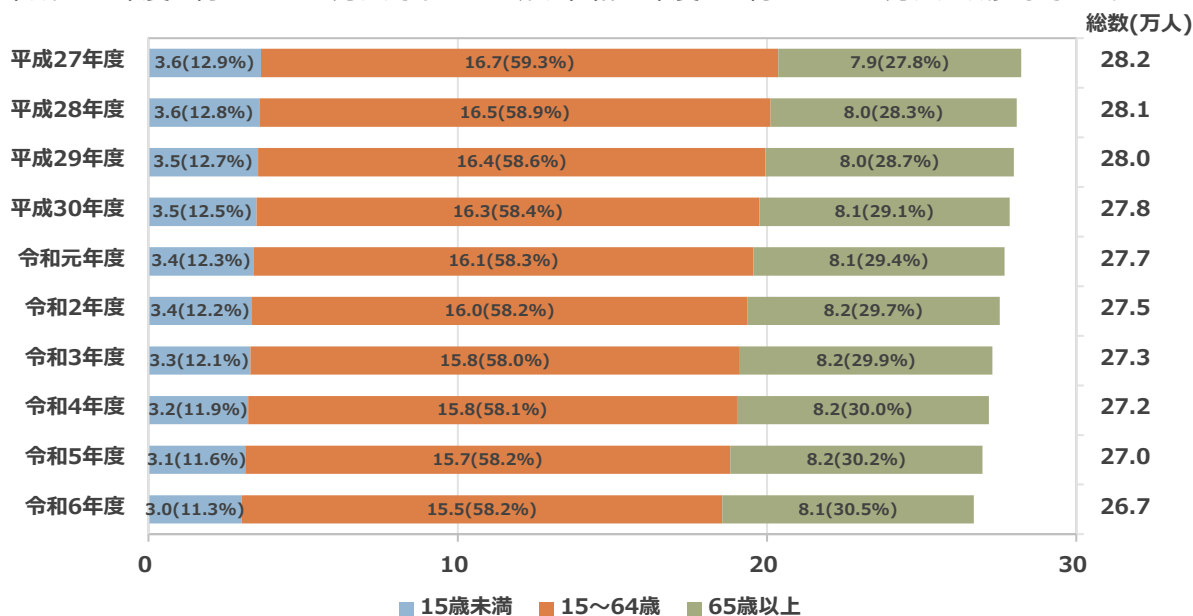


図 1-1 位置図

2. 津市の人口動態

津市の総人口は、平成18年1月の合併以降減少していますが、令和6年度末で約26.7万人となり、三重県の市町では四日市市に次いで多くなっています。

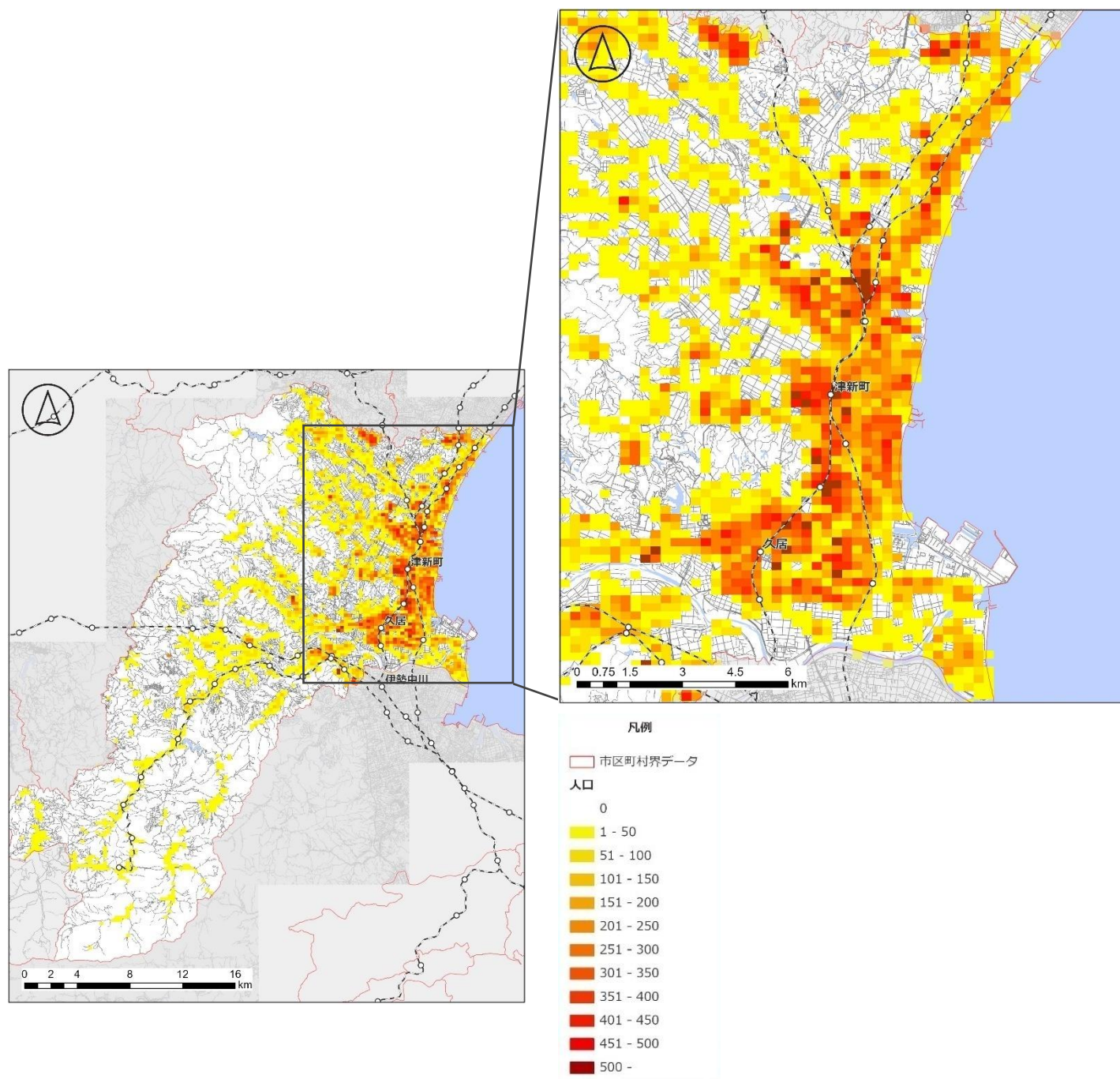
生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（15歳未満）ともに減少しており、生産年齢人口は、平成27年度に約16.7万人であったものが、令和6年度には約15.5万人に減少しています。



※) 各年度末（3月31日）の人口（外国人を含む）
（出典：住民基本台帳）

図 1-2 津市の年齢3区分別人口の推移

津市内の人口は、東部の伊勢湾岸沿いの市街地に集中しており、西部の平野部や山間部では低密度に分散しています。



(出典：令和2年 国勢調査 250mメッシュデータ)

図 1-3 津市内の人口分布

3. 観光の状況

津市は、豊かな自然環境に恵まれており、南北約20kmにわたって続く海岸線や、清少納言ゆかりの名湯として知られる美人の湯「榊原温泉」を始めとする中伊勢温泉郷、美杉地域の癒しの森等、多種多様な風景を楽しむことができます。

また、「津まつり」や「津花火大会」等のイベント時には、市内外から多くの来客があります。

さらに、近年では「津城」及び「多気北畠氏城館」が続日本100名城に選定されたことに加え、高田本山専修寺の「御影堂」及び「如来堂」が建造物としては県内で初となる国宝指定を受けるなど、歴史的資源の持つ価値が改めて評価されるなど、観光資源が充実してきています。



津城（出典：津市）



高田本山専修寺（出典：津市教育委員会）

4. 地域公共交通の現状

(1) 鉄道

津市における鉄道網には、東海旅客鉄道（ＪＲ東海）の紀勢本線及び名松線、近畿日本鉄道（近鉄）の名古屋線及び大阪線並びに第三セクターである伊勢鉄道の伊勢線があり、名古屋圏、大阪圏、県西部（伊賀市、名張市）及び県南部方面（伊勢市、尾鷲市、熊野市等）と結ばれています。

なお、近鉄各線が複線電化されているのに対し、津市域内のＪＲ各線と伊勢鉄道は非電化で単線となっています。

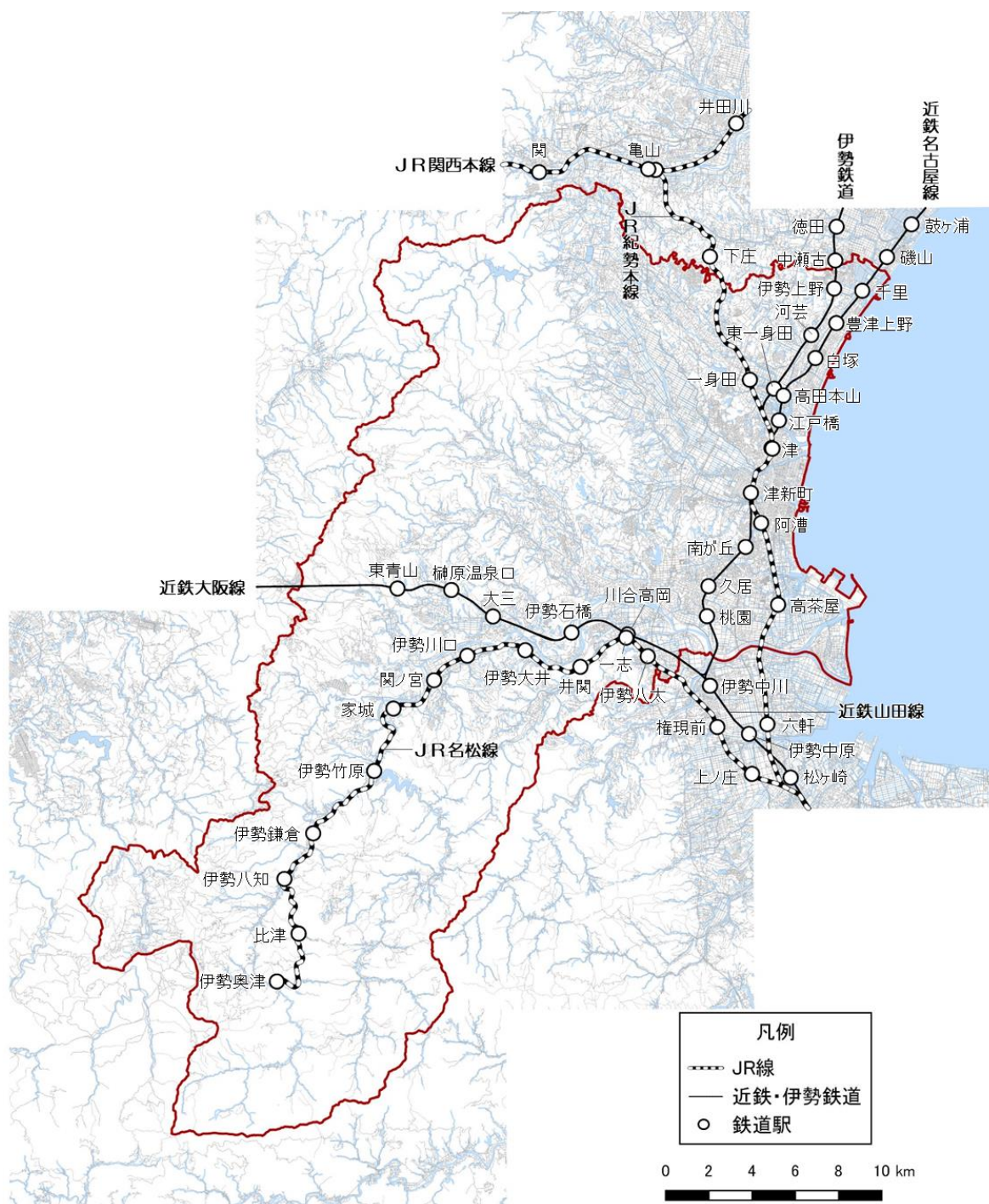


図 1-4 津市の鉄道網

(2) 乗合バス

津市のバス交通には、民間事業者が運行する「高速路線バス」及び「一般路線バス」、津市が運営する「自主運行バス（廃止代替バス）」及び「津市コミュニティバス」、NPO 法人が運営する「ぐるっと・つーバス」並びに地域住民が主体となり運行する「地域住民運営主体型コミュニティ交通」があります。

なお、本計画では「一般路線バス」と「自主運行バス（廃止代替バス）」を「一般路線バス」、「津市コミュニティバス」、「ぐるっと・つーバス」及び「地域住民運営主体型コミュニティ交通」を「コミュニティ交通」として整理しています。

表 1-1 乗合バスの種類

種類		運営主体
高速路線バス		民間事業者
一般路線バス	一般路線バス	
	自主運行バス（廃止代替バス）	津市
コミュニティ交通	津市コミュニティバス	
	ぐるっと・つーバス	NPO 法人
	地域住民運営主体型コミュニティ交通	地域住民

1) 高速路線バス

津市における高速路線バスは、三重交通を中心に民間事業者により運行されています。令和7年4月～9月に運行実績のある行先は、以下のとおりです。

行先	宮城県（仙台市等）、埼玉県（さいたま市）、千葉県（船橋市）、東京都（新宿区等）、神奈川県（横浜市）、山梨県（甲府市等）、富山県（富山市等）、石川県（金沢市）、京都府（京都市）
----	---

2) 一般路線バス

津市における一般路線バスは、全て三重交通が運行しており、津駅、津新町駅、久居駅といった主要な鉄道駅を発着又は経由する路線が主体で、東部の伊勢湾岸沿いに網目状に路線網が存在するほか、主要な鉄道駅と総合支所等とを結んでいます。

なお、一部、津市と隣接自治体（亀山市、鈴鹿市、松阪市、名張市、奈良県御杖村）とを結ぶ路線も存在します。

表 1-2 一般路線バス一覧

路線名称	系統番号	路線の 位置づけ	運行区間
神戸白塚線	06	幹線	片田団地～津駅・白塚駅
波瀬線	11	幹線	三重中央医療センター・久居駅～室の口
高野団地線（自主運行バス）			久居駅～とことめの里
榊原線	15	幹線	津駅～下村～榊原車庫前
	16		津駅～上稲葉～榊原車庫前
久居高茶屋線	21	幹線	久居駅東口～香良洲公園
国立病院線	22	市内線	久居駅～三重中央医療センター・久居高校
津三雲線	31	幹線	津駅～天白【松阪市】
香良洲線	32	幹線	津駅～香良洲公園
城山線	34	幹線	津駅～警察学校
津なぎさまち線	35	市内線	津駅～空港アクセス港
津太陽の街線	40	準幹線	千里駅～太陽の街【鈴鹿市】～千里駅
一身田大里線 （一部自主運行バス）	51	幹線	日硝ハイウエーアリーナ～三重病院
棕本線	52	幹線	イオンモール津南・米津・津駅 ～サイエンスシティ・豊が丘・棕本
豊野団地線（自主運行バス）	53	幹線	津駅～豊野団地口～津駅
亀山棕本線（自主運行バス）	55	準幹線	棕本～亀山駅前【亀山市】
安濃線	65	幹線	津駅～市場
津駅西団地循環線	71・81	市内線	津駅西口～西団地～津駅西口
津西ハイタウン線	84・85	市内線	津駅西口～津西ハイタウン
	86	市内線	津新町駅・津駅西口～津西ハイタウン
看護大学夢が丘線	89	市内線	津駅西口～総合文化センター・夢が丘団地
長野線	91	幹線	津駅～平木
泉ヶ丘片田団地線	93	幹線	津駅・津新町駅～片田団地
辰水殿舟団地線	95	幹線	津駅・津新町駅～殿舟団地・穴倉
奥津線	31 (伊賀)	準幹線	敷津～名張駅前（西口）【名張市】

※）平日 1 日 1 往復以下の区間は記載の対象外
（出典：三重交通提供資料）

- 自主運行バス：市内の路線バスが廃止された後を受け、津市が三重交通に運行を委託し、廃止前と同じ運行形態で運行しているもの
- 幹線：市内の都市拠点と地域拠点とを結び、かつ市街地内に一定のサービス水準を確保する役割の路線
- 準幹線：市内外の拠点を結ぶ路線
- 市内線：市街地内に一定のサービス水準を確保する役割の路線

3) コミュニティ交通

津市は、旧市町村単位の10の地域で構成されており、「津市コミュニティバス」は津地域（一部を除く）及び香良洲地域を除いた8地域、「ぐるっと・つーバス」は津地域で運行しています。

また、津市内では、一般路線バス及び津市コミュニティバスが運行していない地域において、地域住民が運営主体となって交通手段を確保しています。（「地域住民運営主体型コミュニティ交通」）かつては白山地域の二俣地区及び上佐田地区でも運行していましたが、令和6年10月末で廃止となり、現在は津地域の高松山団地のみ運行しています。



図 1- 5 津市コミュニティバス運行地域

表 1-3 津市コミュニティバス一覧

各地域	ルート名称	運行区間	運行曜日
河芸地域	河芸循環（月・土）ルート	河芸総合支所～近鉄千里駅・近鉄豊津上野駅～河芸総合支所	月・土
	河芸循環（水）ルート	河芸総合支所～近鉄千里駅・近鉄豊津上野駅・千里ヶ丘公民館～河芸総合支所	水
	河芸南・一身田・白塚循環ルート	河芸総合支所～白塚駅西・近鉄豊津上野駅・北部市民センター前～河芸総合支所	火・木・金
久居地域	久居北・片田・高茶屋ルート	久居駅東口～久居インターガーデン～片田団地	火・木・金
	久居南・雲出ルート	イオンモール津南～久居インターガーデン・桃園駅東～三重中央医療センター	月・水・土
	久居西循環ルート	久居インターガーデン～榊原口～久居総合支所前（久居駅西口）	火
芸濃地域	芸濃北ルート	長徳寺～中町～芸濃総合支所	火・木・金
	芸濃南ルート	長徳寺・北畑～市場・中町～芸濃総合支所	月・水・土
安濃地域	清水ヶ丘団地・戸島・棕本ルート	清水ヶ丘団地～曽根橋～芸濃総合支所	火・木・金
	妙法寺・野口・棕本ルート	安濃総合支所～曽根橋～芸濃総合支所	月・水・土
美里地域	穴倉・辰水・忠盛塚ルート	美里総合支所～忠盛塚～榊原口・美里総合支所	月・水・土
	長野・榊原ルート	平木～美里総合支所・稲葉口～榊原口・湯の瀬	火・木・金
一志地域	一志東・伊勢中川駅ルート	伊勢中川駅東口・片野集会所～川合高岡駅・一志総合支所～とことめの里一志	月・水・土
	一志西循環ルート	とことめの里一志～川合高岡駅・一志総合支所～とことめの里一志	火・木・金
白山地域	八対野・大三ルート	榊原車庫前・文化センター・榊原温泉口駅～一志病院・グリーンタウン～一志病院・家城駅前	毎日
	福田山・川口・三ヶ野（月・水・金）ルート	上福田山・マックスバリュ（川口店）・白山総合支所前～関ノ宮・川口駅前・大三駅前～白山総合支所前・白山中学校前・文化センター	月・水・金
	福田山・川口・三ヶ野（火・木）ルート	上福田山・一志病院～家城駅前・関ノ宮～榊原温泉口駅	火・木
美杉地域	美杉東ルート	丹生俣・伊勢奥津駅前～伊勢竹原駅前・家城駅前・一志病院～下之川出張所前～一志病院・マックスバリュ（川口店）	月・水・金
	美杉西ルート	川上～敷津・比津・竹原・エコープみすぎ店前～一志病院（～マックスバリュ（川口店））	月・水・金
	美杉南ルート	飯垣内・美杉総合支所前～三多気・老ヶ野～美杉総合支所前・飯垣内	水
	美杉循環ルート	敷津・伊勢奥津駅前・道の駅美杉～竹原・道の駅美杉・伊勢奥津駅前・津市家庭医療クリニック北・伊勢地出張所前～道の駅美杉・伊勢奥津駅前・敷津	火・木

(3) タクシー

津市及び松阪市（ただし、旧嬉野町、旧三雲町の区域に限る。）で「津交通圏」を形成しており、令和7年4月現在、津市内には事業者が9者あります。

表 1-4 タクシー事業者一覧

事業者名	所在地
三重近鉄タクシー(株)津営業所	津市大字岩田字丸山 1 番 8
安全タクシー三重(株)津営業所	津市上弁財町津興 3193
三重第一交通(株)	津市寿町 20 番 17 号
共和タクシー(有)	津市中央 6 番 27 号
久居交通(株)	津市戸木町 4096
つタクシー(有)	津市乙部 2016 番地
(有)中川タクシー	津市垂水 1348 番地
河芸タクシー(有)	津市河芸町東千里 132 番地の 5
(株)一志運輸	津市一志町高野 225 番地の 1

(4) 高速船

平成17年2月に、津なぎさまち（津新港）～中部国際空港（セントレア）間を約45分で結ぶ高速船を就航し、運航されています。これまで高速船2隻で運航してきましたが、令和7年5月に高速船1隻が故障し、令和7年10月現在、1隻で運航しています。



図 1-6 航路図（津航路）